

# 志津見ダムの概要

---

平成29年10月

中国地方整備局  
出雲河川事務所

# 志津見ダムの概要

- ・水系河川名 : 斐伊川水系神戸川
- ・管理事務所 : 国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所
- ・所在地 : 島根県飯石郡飯南町
- ・完成年度 : 2011年
- ・形式 : 重力式コンクリートダム
- ・目的 : 洪水調節、河川環境の保全  
工業用水の供給、発電
- ・堤高 : 81m
- ・堤頂長 : 266m
- ・流域面積 : 213.8km<sup>2</sup>
- ・湛水面積 : 2.3km<sup>2</sup>
- ・洪水調節 : 自然調節方式



# 志津見ダム機能

## ①洪水調節

志津見ダム建設地点における計画洪水流量 $1,400\text{m}^3/\text{s}$ のうち、 $900\text{m}^3/\text{s}$ の洪水調節を行い、神戸川の洪水ピークを低減するとともに、斐伊川放水路とあいまって斐伊川下流部の洪水を低減します。

## ②河川環境の保全

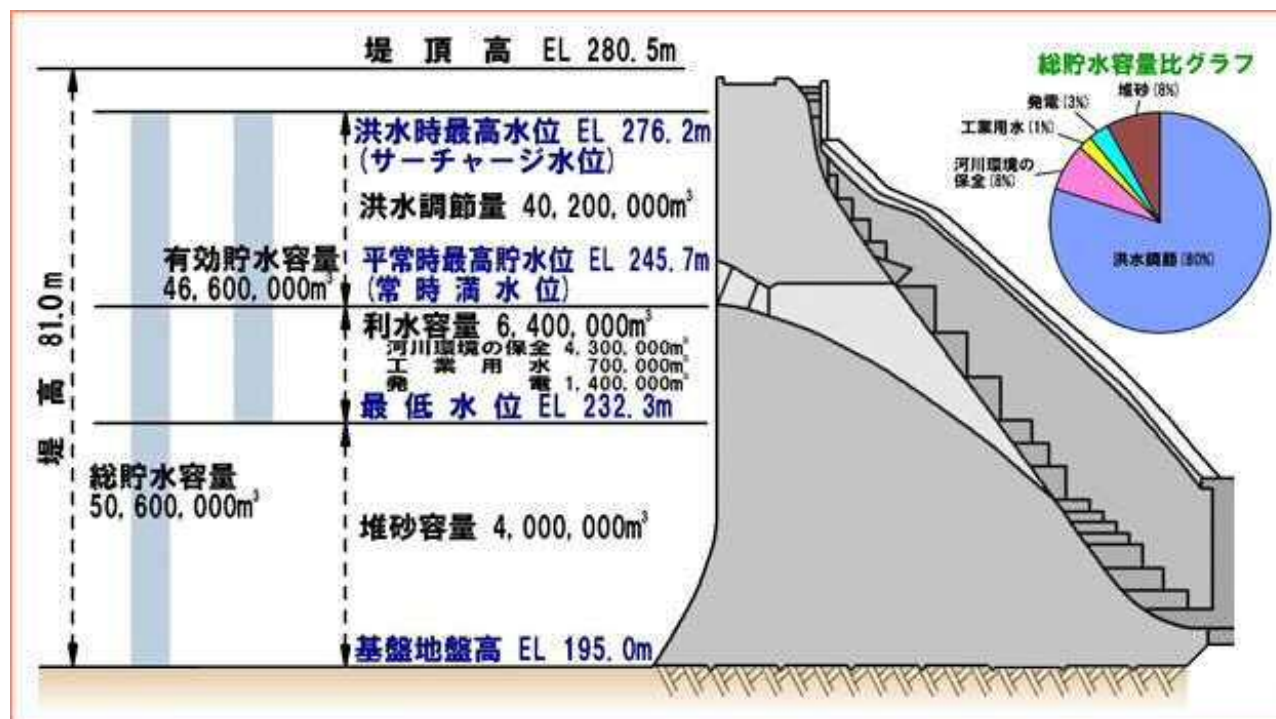
ダム下流で利用されている用水を安定的に供給するとともに、河川に生息・生育する動物・植物の保護のために必要な水を流します。

## ③工業用水の供給

島根県に対し、馬木地点において工業用水として、新たに1日最大 $10,000\text{m}^3$ の取水を可能とします。

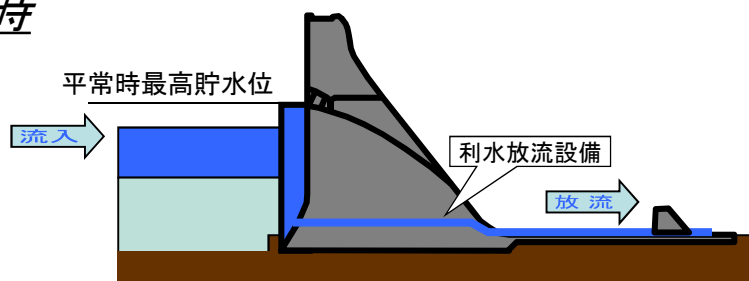
## ④発電

島根県が設置した発電所において、最大出力 $1,700\text{kw}$ の発電を行います。



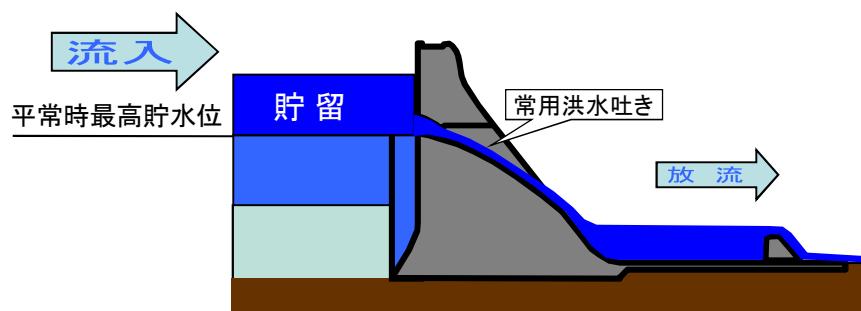
# 志津見ダム洪水調節の仕組み

## 平常時



ダムの貯水位が平常時最高貯水位以下の場合には、利水放流設備から放流します。

## 洪水時

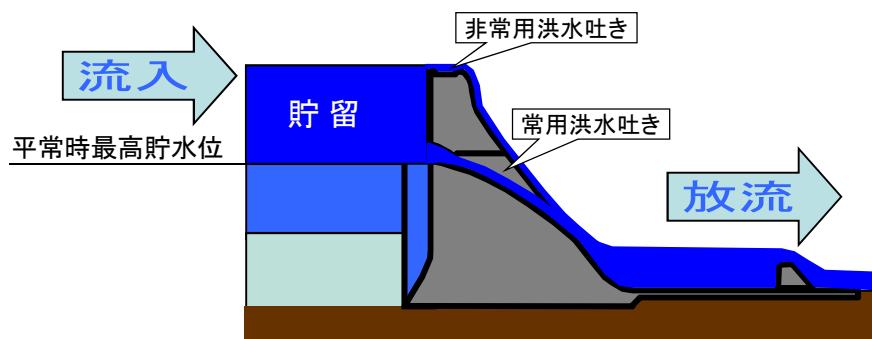


洪水によりダムの貯水位が平常時最高貯水位を超えて上昇すると、ダムへの流入量の一部をダムに貯留し、残りを常用洪水吐きから放流します。

志津見ダムには洪水調節用ゲートがありませんので、流入量のうち、ダムに貯留される洪水の割合は、貯水位に応じて自然に決まります(自然調節方式)。

なお、洪水により放流量が急激に増加する恐れのある場合には、放流警報を鳴らします。

## 計画規模を上回る洪水時



計画規模を上回る洪水が発生して、ダムの貯水容量が満杯になると、ダムの上部(非常用洪水吐き)からも水が流れます。このときには、流入量と放流量が等しくなります。

# 志津見ダムの平常時における放流

- 河川環境の保全のためダム下流で定められている正常流量を満足するように放流。 ← 志津見ダムからの補給
- 平常時最高貯水位を上回る場合は、常用洪水吐から放流。

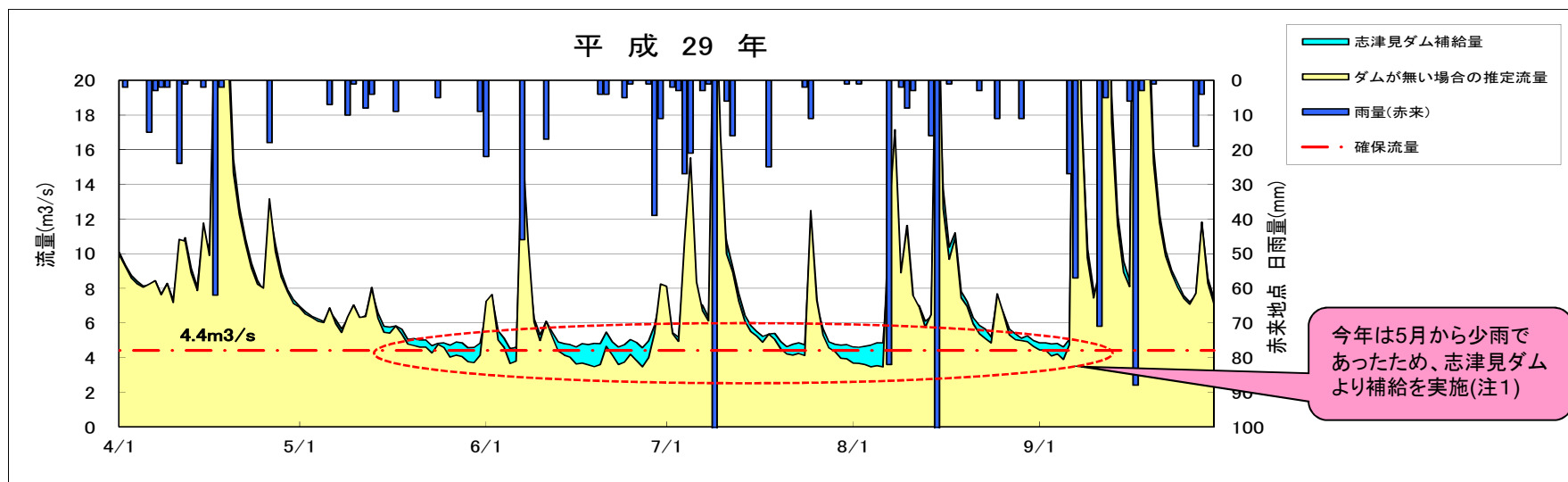
## 正常流量

(単位：m<sup>3</sup>/s)

地点名	かんがい期	非かんがい期
	3/20~9/30	10/1~3/19
馬木	4.4	3.1

## 志津見ダムからの補給状況

※グラフは暫定値を使用して作成しており、今後変更される場合があります。

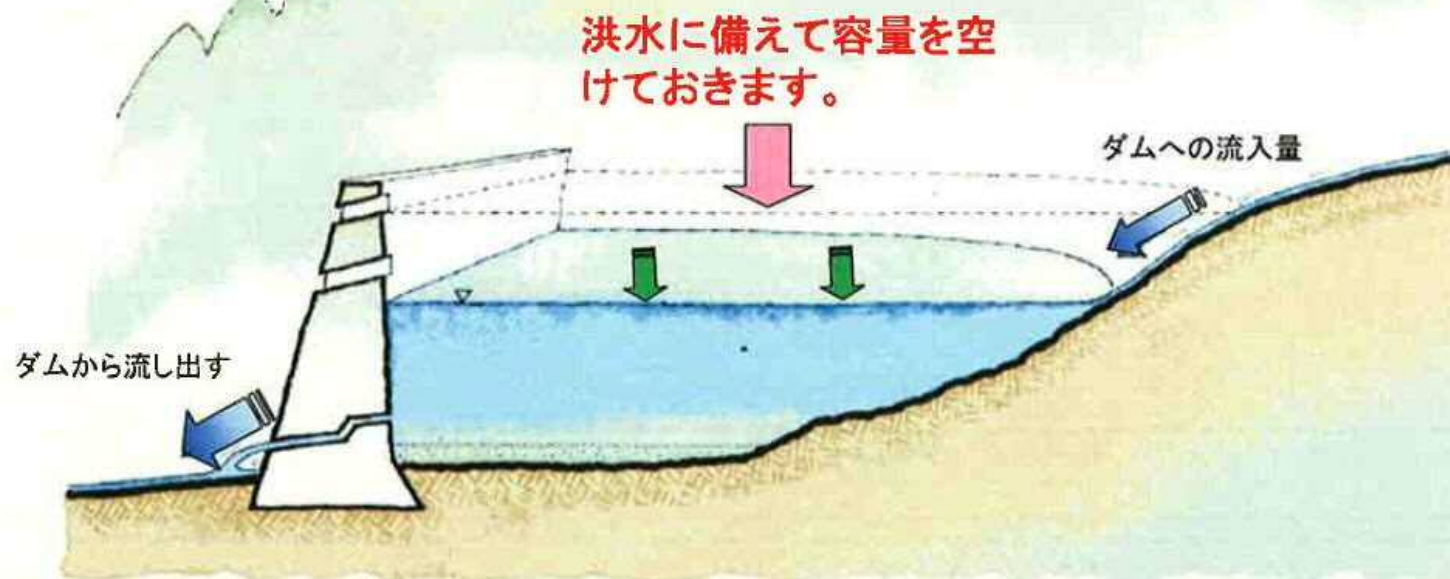


注1：志津見ダムからの補給については、他の流域からの流入や取水による流量変化及び馬木地点への水の到達時間（志津見ダムから約37km下流）を予測しながら、正常流量を確保できるよう放流しています。

# (参考)ダムによる洪水調節の仕組み①

## ① 洪水に備える

ダムによっては洪水に備えて、台風や大雨による洪水の起きやすい季節に、あらかじめ貯水位を下げて洪水を溜めるための容量を確保するダムや、降雨が予想される場合に前もって放流を行い、容量を空けておくダムがあります。



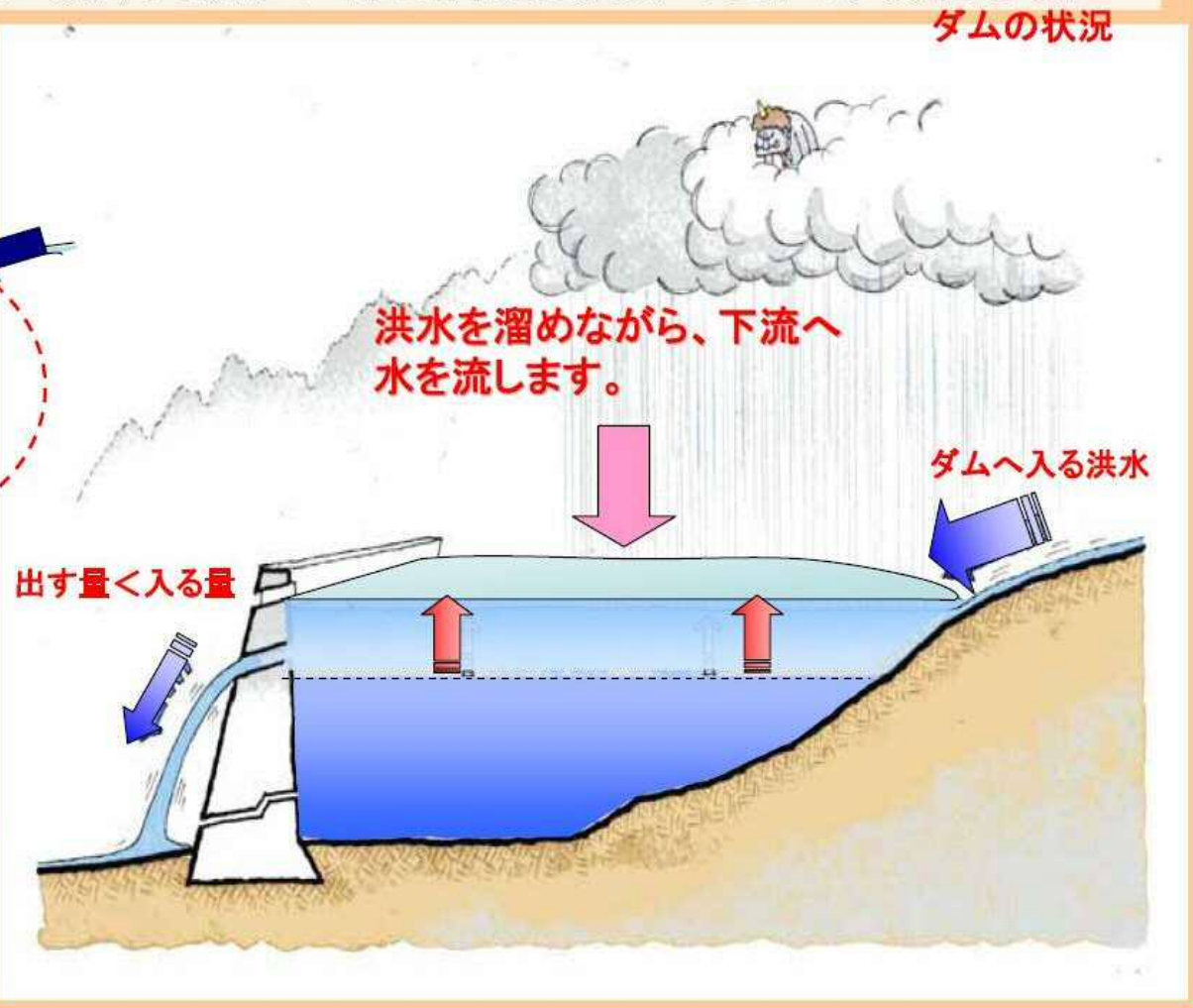
# (参考)ダムによる洪水調節の仕組み②

## ダムによる洪水調節の仕組み②

### ②洪水を貯め込む

大雨が降り洪水になると、ダムへ流入する洪水の一部を貯水池に溜め、ダムから水を流します。

ダムの状況



- ダムに水を貯め  
川に流す水量を減少。
- 川の水位上昇を少なくし、  
洪水の被害を軽減します。

# (参考)ダムによる洪水調節の仕組み③

## ダムによる洪水調節の仕組み③

### ③想定を上回る洪水への対応

想定を上回る異常な洪水の場合、ダムに溜められる容量が一杯になることがあります。その時ダムではこれ以上洪水を溜められないので、ダムに流入する洪水とダムから下流に流す水の量を等しくします。

この場合でも、ダムに入ってくる洪水より多い水量をダムから下流に流すことはありません。



自然河川状態(ダムに入る洪水=ダムから流す量)でのダムの操作を維持。



# (参考)ダムによる洪水調節の仕組み④

## ダムによる洪水調節の仕組み④

### ④次の洪水に備える

大雨が止み、洪水が過ぎ去ると、ダムへ流れ込む水量も小さくなります。貯水池は、洪水を溜めた分だけ水が増えているので、次の洪水に備えて、下流の河川の状況を見ながら、溜めた水を流して貯水池の容量を空けます。

